

SDGs 未来都市 みのかも

SDGs推進室（商工観光課） ☎ 25-2111 内線 260



ソーシャルビジネスシティ

「公共」の事業を「民間」がビジネスで事業化する「ソーシャルビジネス」。税金での社会課題解決の限界という現状から、売上を上げる、ビジネスチャンスへと変えることができます。

そこで市は、経済を回しながら社会課題の解決を行うため、ソーシャルビジネスの創出を目的に「ソーシャルビジネスシティ」を宣言。SDGsを推進する中で、官民による新たな基盤づくりも行っています。

ローカルSDGs実現へ

「ローカルSDGsみのかも」を実現するには、行政だけでなく、市内のステークホルダー（活動を行うことで影響を受ける利害関係者）や大都市圏を拠点とする企業からのアイデアやノウハウなどが必要不可欠です。

ローカルSDGsで掲げる目標の達成に向け、2021年2月にローカルSDGsみのかもの運営母体となる「みのかもSDGs推進本部」を設立。同年

「SDGs」ってなに？

持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。この目標では、17のゴールと169のターゲットを設定し、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む共通のものであり、日本も積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



5月に、その推進本部の中に「みのかもSDGs推進協議会」を設置しました。

設置に向けては、ステークホルダーとなる金融機関や商工会議所、農業協同組合などと勉強会を開催し、以降、市内外の民間企業や大学などの関係者を増やしながら、新たな取り組みの基盤を創りあげています。

この推進協議会では、市が抱える課題の解決に向け、6つの部会を設置し、それぞれに関係する事業者らが集まり活動しています。ここからは、その6つの部会について紹介します。



▲みのかもSDGs推進協議会

SDGs 未来都市と自治体モデル事業に選定

さまざまな取り組みが全国で行われる中、SDGsの目標達成には、地方自治体によるSDGs推進のための取り組みや事業の実施が必要不可欠です。

そこで国では、地方公共団体が持続可能なまちづくり事業に取り組みることが重要であると捉え、SDGs達成への手法を取り入れた「SDGs実施指針」を策定。「経済」「社会（暮らし）」「環境」の三側面における新しい価値創出を通じて持続可能な開発を実現する能力が高い取り組みを提案する地方自治体を「SDGs未来都市（今年度は全国で31都市が選定）」として選定し、その中でも特に優れた先導的な取り組みを「自治体SDGsモデル事業（今年度は全国で10事業が選定）」として選定し支援することで、成功事例の普及を促進しています。

美濃加茂市は令和3年にこのどちらにも選定され、地域循環共生圏（※1）の実現に向けたソーシャルビジネス（※2）創

出モデル事業「ローカルSDGsみのかも」がすでに動き出しています。

これに第6次総合計画「ウォーカブルシティ」の主要テーマに掲げる「健康」をはじめ、「里山千年構想」や「農業ビジョン」などを連携。地域の「経済」「社会」「環境」のあらゆる課題を解決し、推進させていくことで、よりよいまちを目指しています。ここで重要なのは、「経済」「社会」「環境」のどれか一方を立てて、他方がおろそかになってしまわないように、「三方良し」の考え方で良くなっていくことです。この考え方のもと、現在市内ではさまざまな取り組みが動き出しています。

（※1）各地域が美しい自然景観などの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。（※2）社会問題の解決を目的とした収益事業。

健康統括部会

みのかもSDGs推進協議会

【目的】「持続可能な健康まちづくり」を目指した健康IQを高めるための仕組みづくりと実施
【関連事業者】社会医療法人厚生会、フィリップス、田園社会イニシアティブなど他20団体



comment
健康統括部会
社会医療法人厚生会
やまだ みきと
山田 実貴人さん

現代社会で健康を支えるためには、医療や行政だけではなく、日ごろから一人一人が健康になるために運動習慣やバランスの取れた食生活を身に付ける必要があります。

地域資源である里山や人、コミュニティを連動させ、健康IQを高め、安心して生活し続けられるまちづくりを目指します。

エネルギー部会

みのかもSDGs推進協議会

【目的】市内の脱炭素化（ゼロカーボン）と地域経済活性化に資するエネルギー事業の構築
【関連事業者】中部電力パワーグリッド、佐合木材、エコソニックなど他5団体



comment
エネルギー部会
中部電力パワーグリッド株式会社
はしば かずたか
橋場 一貴さん

脱炭素化は国内だけでなく、世界規模で推進されています。再生可能エネルギーを導入することは環境への配慮に加え、地域経済を循環できるものであると考えています。

本部会では、ゼロカーボンシティの実現とともに、地域資源を最大限活用・循環させるなど、地域経済が活性化する仕組みを構築しています。

参加者を募集中 2030 SDGsカードゲーム体験会

カードゲーム「2030 SDGs」は、SDGsの17のゴールを達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲームです。

このゲームは、SDGsのゴールを細かく知るためのものではなく、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあつることによってどんな変化や可能性があるか」を体験的に理解するためのものです。SDGsという言葉聞いたことがない人やあまり興味関心がない人でもゲームを通して、楽しみながらSDGsの本質を理解することができます。

- **と き** ①2月26日②3月13日 ③いずれも午後1時～4時
- **と ころ** 生涯学習センター201号室
- **対 象** 市内在住、在勤、在学の人
- **定 員** 各日30人
- **参加料** 無 料
- **申 込** ①は2月18日②は3月4日までに、直接または電話でSDGs推進室へ
- ☎ SDGs推進室（商工観光課） ☎ 内線261

1人でも、家庭でも、すぐにできる 暮らしの身近なSDGs

持続可能な開発目標「SDGs」は、世界を変えるための壮大な目標で、その実現には、世界が力を合わせる必要があります。とても自分に関わることのできる話ではないように思うかもしれません。

しかし、私たち一人一人の行動から「変化」が始まるのです。私たちが日常生活ですごく簡単に取り入れられる行動もあります。こうしたことをみんなで実践すれば、世界は大きく変わります。

ここでは、世界を変えるために私たちにできることの一部をご紹介します。ぜひ実践してみましょう。

- 電気を節約しましょう。電気機器を電源タップに差し込んで、使っていない時は完全に電源を切りましょう。もちろんパソコンも同様です。
- 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルしましょう。埋立地を増やす必要がなくなります。
- 家の窓やドアの隙間をふさいで、エネルギー効率を高めましょう。
- 古い電気機器は、省エネ型の機種や電球に取り替えましょう。
- 地元で買い物を楽しみましょう。地域の企業やお店を支援すれば、雇用の確保にもつながります。
- 詰め替え可能なボトルやコーヒーカップを使いましょう。無駄がなくなるほか、お店によっては値引きを受けられることもあります。
- 買い物にはマイバックを持参しましょう。レジ袋は断って、いつでもマイバックを持ち歩くようにしましょう。
- 職場で差別があつたら、どんなことでも声を上げましょう。性別や人種、性的指向、社会的背景、身体的能力に関係なく、人は誰もが平等です。
- 日々の決定を見つめ直し、必要に応じて変えてみましょう。例えば、家庭や職場でリサイクルができているか、自然環境に害を及ぼすようなことはしていないかなど、さまざまなことを見直すことで気付くことも多くあります。

【参考】国連広報センター発行『持続可能な社会のために ナマケモノにもできる アクション・ガイド』

みのかもSDGs推進協議会 公共交通部会

【目的】持続可能な公共交通の維持・確保／利便性向上や外出機会創出のための技術などの検討

【関連事業者】社会医療法人厚生会・新太田タクシー・東海旅客鉄道・名城大学・東京大学



comment
公共交通部会
新太田タクシー株式会社
やまもととしひろ
山本 俊浩さん

人がいつまでも豊かに暮らし続けるために、公共交通はなくてはなりません。このため、電気バスへの転換、自動運転バスの運行、新技術を活用した便利なサービスの提供など、市民が安心して豊かに暮らし続けられるよう、未来の市にふさわしい公共交通の在り方について、夢を語り、その実現に向けた取り組みを推進します。

みのかもSDGs推進協議会 観光部会

【目的】「観光ビジョンの策定」を行いながら、それを具体化する事業を創出

【関連事業者】御代桜醸造、たくあん、若尾製菓、リバーポートパーク美濃加茂など他5団体



comment
観光部会
有限会社たくあん
わたなべこうじ
渡辺 幸司さん

市の今後の観光の方針を考える「観光ビジョン」ですが、市への来訪者だけでなく地域全体が幸せになる仕組みを取り入れることを視野に策定していきたいと思っています。

地域を照らし、地元の人がここに住んでいることを誇りに持てるような観光を推進していきます。

みのかもSDGs推進協議会 農林業部会

【目的】里山と共存する循環型農業を目指し、生産と消費の地域内好循環システムを構築

【関連事業者】可茂森林組合、めぐみの農協、みのかもファーマーズ倶楽部、早川青果など他4団体



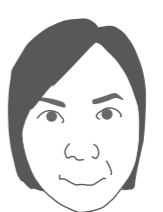
comment
農林業部会
タガヤスケープ
おおさわよしえ
大澤 佳絵さん

持続可能な社会に農林業は必ず必要なものですが、それを続けていくためにはさまざまな課題を解決しなければなりません。里山には持続可能な社会へのヒントがあふれているので、「里山を農業に活用」をキーワードに、生産から販売、消費までの流通など多様な形で携わる皆さんとプラットフォームの構築を目指しています。

みのかもSDGs推進協議会 普及啓発・人材育成部会

【目的】市内のSDGs普及啓発や将来の担い手となる人材育成の仕組みを構築

【関連事業者】東和組立、美光技研、東京海上日動、日本少子化対策ネットワークなど他8団体



comment
普及啓発・人材育成部会
東京海上日動火災保険株式会社
しばかわまきこ
芝川 真貴さん

まだまだ浸透していないSDGsの考え方や事業ですが、皆さんにわかりやすく、そして取り入れやすく説明していくことが必要です。

そのため、市内企業でSDGsに関するカードゲームやセミナーを実施しています。また、ソーシャルビジネスコンテストも実施しており、将来の担い手の育成にも力を入れています。